



ビジネスマナー講座 日経新聞の読み方講座

通年
随時受付



社会人、ビジネスパーソンとしてのマナーと、新聞からの情報収集力を身につける。

【講座概要・特色】

社会にはさまざまなビジネスマナーがあります。社会人、ビジネスパーソンとしては、それを理解して身につけておかななくては、相手に不快感を与えてしまったり、正しくコミュニケーションができず、ビジネスに支障をきたすことにもなりかねません。ビジネスマナーやルールについて、社会に出る前にしっかり身につけておきましょう。また、日常の情報源として欠かせない新聞、とりわけ経済記事が中心である日経新聞について、どの部分をどう読んで、それぞれの人が知っておくべき情報を効率よく入手するかについて学習できるのが「日経新聞の読み方講座」です。

「ビジネスマナー講座」はWeb上にある「動画教材」、「日経新聞の読み方講座」はWeb上にある「テキスト教材」によって学習する講座です。「ビジネスマナー講座」は、学習したいテーマ別の3講座から1講座をご選択いただけます。インターネットを利用できる環境があれば、自分のペースで学習することが可能です。再学習機能付きです。習熟レベルチェックテストで間違えた問題をシステムが分析し、関連問題を自動出題。繰り返し演習し、効率的に弱点を克服した上で、検定試験に臨めます。

ビジネスマナー講座・日経新聞の読み方講座 同時受講コースについて

ビジネスマナー講座、及び日経新聞の読み方講座の両方を受講する方については、それぞれ受講申込するよりも安い受講料で同時に受講できるコースを設定しています。ぜひ活用してください。

- デモンストレーションサイトで実際の講座の一部をご覧ください。
<https://www.artis.co.jp/lms/>
 ユーザー ID: demo300
 パスワード: demo



受講料

- ビジネスマナー講座1、2、3のうち1講座(動画形式)【1ヶ月】: 在学・卒業生 3,000円/一般 3,100円
- 日経新聞の読み方講座(Webテキスト形式)【2ヶ月】: 在学・卒業生 3,000円/一般 3,100円
- ビジネスマナー講座1、2、3のうち1講座(動画形式)・日経新聞の読み方講座(Webテキスト形式)同時受講コース【2ヶ月】: 在学生・卒業生 5,400円/一般 5,900円

注意事項

1. 受講開始日は毎月1日または15日からになります。希望する開始日の10日前までに申し込んでください。
2. 受講開始日までにID、パスワードがe-mailで送信され、受講開始となります。
3. Microsoft社のWindows(10/11)をOSとするパソコンで、ブラウザはMicrosoft Edge(最新版)、Google Chrome(最新版)を推奨しています。最新のAdobe Reader、MP4またはWMVファイルの再生環境を推奨しています。
4. インターネットへの接続環境(常時接続、1Mbps以上を推奨)は受講者自身で準備する必要があります。また、インターネット回線利用に関する費用については自己負担です。

ビジネスマナー講座1:社会人としての基本

社会人としての基本となる職場のマナー、報告・連絡・相談・言葉遣い等を確認。

ビジネスマナー講座2:電話・メール・テレワークの基本

電話・メール・テレワークを中心に、社会人としての心得を解説。

ビジネスマナー講座3:訪問・来客の迎え方、冠婚葬祭の基本

個人宅や法人への顧客訪問時、来客時のマナー等を解説。

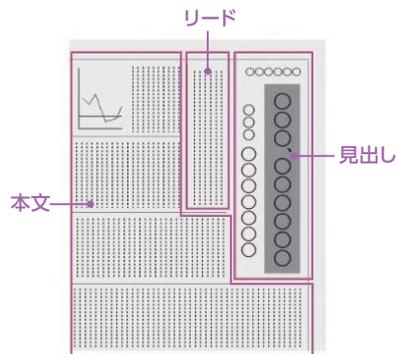
*ビジネスマナー講座は、学習したいテーマ別の3講座から1講座をご選択いただけます。

【参考:日経新聞の紙面構成と出勤前に読むコツ(抜粋)】

まずは「1面」を読む

「1面」の全体を眺めて、政治・経済などの大きな動きをつかみます。その中でも自己の仕事に関係する記事については、本文までしっかり読むようにしましょう。

なお、日経新聞の記事は「見出し」「前文(リード)」「本文」に分かれているので、時間がないうちは「見出し」と「前文(リード)」だけでも読んでおくようにしましょう。

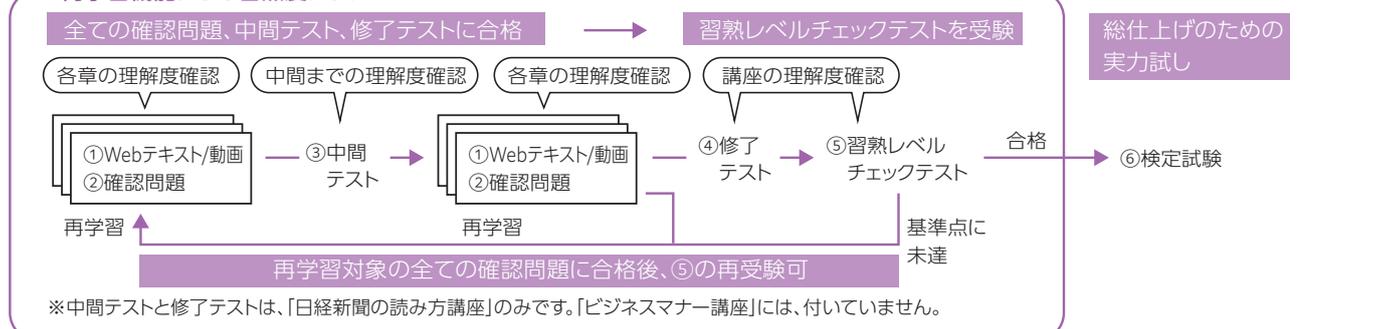


日経新聞の読み方講座	
項目	内容
1	日経新聞の紙面構成と出勤前に読むコツ
2	主要指標の見方1
3	主要指標の見方2
4	その他株式関連指標等の見方
5	株価指数先物/オプション欄
6	短期金融市場欄等の見方
7	債券市場欄等の見方
8	外為市場欄等の見方
9	その他金利指標等の見方
10	証券面の見方1
他 全32項目	

【再学習(履修徹底)機能で学習内容がより確実に定着】

知識習得学習の後、習熟レベルチェックテストの結果次第で、自動的に苦手分野の克服対策問題を提示し再学習を義務付けます。苦手・誤答分野を確実に学習しなおすことで、正確でしっかりとした知識として定着させることができます。

再学習機能により習熟度アップ



■協力:株式会社アーティスソリューションズ